

一首莫暮

東

字の中に白を残す（懐を広く書く）

東

白東東

望

すき間

東

白東東

東

満満満

東皐薄暮に望み

私は東の丘から夕暮の広野を見渡す。

（王績の詩より）

各行の中心を考えて
字の中に白（懐を広く）を
残して書きましよう

王羲之（東晋）を基本に
集字しています